

次期福祉計画策定にむけた課題（案）

調査結果から得られたニーズ

■分野横断型グループディスカッション・グループインタビュー

＜文化センター圏域別グループディスカッション＞

(地域の課題)

- 地域のつながりの希薄化
- 地域の人がわからない・情報共有が課題
- 地域の担い手不足、自治会・町会等への加入者の減少
- 防災対策、災害時要援護者の課題
- 高齢者のみの世帯の増加、見守り・支援の課題
- 子どもの居場所・遊び場が少ない、見守り必要
- 空き家の増加
- 道路が危険
- 交通の便が悪い
- 買い物不便
- 交流・居場所の不足
- 支援が必要な世帯がある
- マナーが悪い

(課題解決のためにできること)

- 交流・居場所づくり
- 見守り・生活支援
- 情報提供・共有の仕組みづくり
- 担い手の確保・育成、自治会・町会の活性化（団体同士の連携）
- 地域行事・イベントへの若者の参加促進
- 高齢者支援等
- 障害者支援等
- 子ども・子育て支援等
- 防災・災害時対応
- 資源の有効活用（空き家活用）等

＜地域福祉の担い手等グループインタビュー＞

- 利用者に複合的な課題を抱えている場合がある
- 行政の情報やデータを市民と共有して地域課題を解決する
- 協働事業は部署を横断的に、行政も一緒に進めてほしい
- 「働く」ことをテーマに協働したい、福祉計画にも必要な視点
- 団体として人材不足、資金不足

＜生活支援機関グループインタビュー＞

- 見守り活動について市民と企業が一体感のある取組みを進めたい
- 市との協働のアイデア

＜相談支援機関グループインタビュー＞

- 80代の親と同居している、支援を望まない50代（8050問題）等、複合的な課題への対応が困難
- 機関同士の連携ではどこの機関がリーダーシップをとるかが課題
- 民生委員・児童委員では、どこまで踏み込んで支援すべきか難しいことがある
- 今後について機関同士のネットワークを深めることが重要
- 複合的な課題を抱えるケースについては担当部署や調整機関があってもよい
- 専門職の人材確保・育成が課題

■分野別調査から見てきたニーズ

【地域】

- 一般市民調査：地域による支え合い、ボランティア活動や地域活動への参加促進と拠点の整備、相談体制の整備、福祉に関する情報提供の充実

【高齢】

- ニーズ調査：一人暮らし高齢者への支援の充実、介護予防の普及啓発、認知症を支える地域づくり等
- 要支援・要介護認定者調査：重症化防止の推進、自立支援の充実、認知症支援体制の充実
- 在宅介護実態調査：仕事と介護の両立等
- 介護保険サービス提供事業者調査：介護人材の確保、困難ケースへの対応、サービスの質の向上、感染症予防対策等
- 介護支援専門員調査：生活支援の充実、在宅療養支援、ケアマネジャーの質の向上等
- 医療機関調査：医療と介護の連携

【障害】

- 障害等のある人への調査：就労支援・定着、相談支援の充実、ノーマライゼーションに関する意識啓発
- 子どもの育ちや発達に関する調査：ライフステージに沿った相談支援
- 福祉団体・事業所調査：災害支援や地域共生社会への協働、事業所支援

■次期福祉計画で考える課題

＜協働による福祉の取組の促進＞

- 担い手の確保・育成
- 医療・介護・生活支援の連携の仕組みづくり

＜地域における情報共有と課題解決のための仕組みづくり＞

- 地域での情報共有や相談の仕組みづくり
- 地域で支えあう仲間・場づくり
- 多様な市民活動の充実

＜包括的な相談及び支援体制の整備＞

- 多機関が連携した相談・支援の仕組みづくり
- 安全で安心して暮らせるまちづくり

次期福祉計画の理念と視点 及び 分野別計画の考え方へ